

第82号



市子連だより

宇部市子ども会育成連絡協議会
発行年月日 令和2年8月1日
発行責任者 山根輝久
事務局 宇部市勤労青少年会館内
TEL/FAX 39-9531

宇部市子ども会育成連絡協議会は、今年度発足60周年を迎えます。

今年度の役員改選で新役員体制となり、各校区会長の皆様と新たな気持ちで再スタートを誓う年にと考えていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で、自粛規制が発動されたため、本協議会も4月に厚東校区で予定していました総会は書面決議とし、60周年事業記念事業を来年度以降に延期することとなりました。

また、市子連の3大行事であるドッヂビー大会、文化祭、イルミネーションをドッヂビー大会のみ開催（秋開催予定）とやむを得ない決定をさせていただきました。コロナ禍の状況で各校子連や単位子ども会の行事開催も先行きのなかなか見通しが立たない中ではあります。が、市子連も状況に合わせ対策を講じながら行事を模索し、出来うるかぎり子どもたちの楽しい思い出になる行事を開催したいと思いますので、皆様のご理解とご支援をよろしくお願い致します。

なお、60周年記念事業はコロナ禍の状況を見極めながら、来年度には行いたいと思っています。色々とご協力やご支援を頂くこととなります。がよろしくお願い致します。

地域の子どもたちの健やかな成長のために子ども会活動を充実した会になるよう尽力致しますので、皆様のご協力とご支援をお願い致します。

宇部市子ども会育成連絡協議会

会長 山根輝久

監査	
相談役	渡壁幸一郎
松橋美恵子	武田尚文
木智	青木智

広報部		研修部	体育部		文化部		組織部	【常任委員】 ◎部長 ○副部長	顧問	会長
安全教育部	○灘城美	○尾木哲	○折口崇寛(東岐波)	○和田一成(厚東)	○岡村研志(岬)	○古谷慎也(小野)	○岩村勝利(見初)	○伊藤博美(恩田)	○小川正史(琴芝)	
○元永明徳(川上)	○鈴木昌美(小羽山)	○城美暁	○灘久美子(神原)	○城美暁	○灘久美子(神原)	○城美暁	○灘久美子(神原)	○伊藤博美(恩田)	○小川正史(琴芝)	○伊藤博美(恩田)
○金城明美(藤山)	○中村郁美(西岐波)	○中村郁美(西岐波)	○中村郁美(西岐波)							

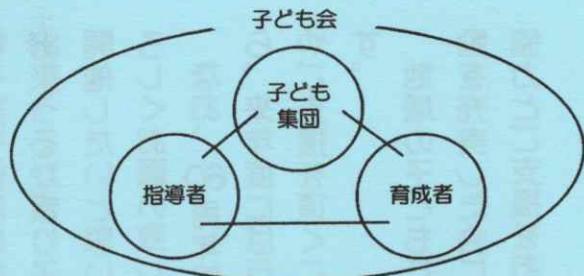
令和2年度 宇部市子連役員名簿

子ども会の共通理解のために・・・

子ども会

子ども会は、就学前2年の幼児から高校3年生年齢相当までを構成員とし、地域を基盤とした異年齢の集団です。 ↳現在は幼児(0歳児～5歳児)からです

その活動を支える指導員と側面から援助する育成者が必要であり、この子どもの集団と指導者、育成者を含めた総称として用います。



子ども会とは

子ども会とは、仲間と活動を共有することによって、その子の、その子が参加している集団の、より望ましい成長を意図したコミュニティ活動です。地域を基盤とし、仲間集団のもつ形成力と、活動(経験)を通しての成長を統合し、よりたくましい子ども、子ども集団を実現しようとする活動です。

家庭・学校では、与えることが困難な、しかし、子どもの発達にとって不可欠な経験を与えることを目的としており、家庭・学校はもとより、地域の諸機関・諸集団と強い連携を保ちながら、活動を進めていくことが大切です。

子ども会活動

子ども会は、その目的を達成するために種々の活動を展開します。

会の運営のために会議活動や係活動が必要です。役割を分担しながら行事活動を共有したり、10人前後からなる班で日常活動を展開するなど、子どもが中心となって活動を進め、仲間とともに成長することを期待しています。会の運営も会則に基づいて子どもが中心となって進めます。

子どもの成長のためには、それにふさわしい活動が必要です。子ども会活動は、その活動の性格に注目して、社会的活動、スポーツ・レクリエーション活動、文化的活動、科学的活動、奉仕的活動などに分類されます。子ども会活動としては、子どもの要求や教育の必要上から、これらの活動を組み合わせて、会の目的にそった活動を行事活動や日常活動として展開し、一人ひとりの人間的成长を図ります。

育成会(員)

育成会は、地域の育成者が力を合わせて子ども会活動を援助するための組織です。したがって、子どもたちが自主的に運営する子ども会活動を側面から援助するものであって、育成会があって子ども会があるのではありません。

地域の育成者は、育成会に加入することによって育成会員となり、会の目的にそって組織的、継続的な一貫性のある活動を行います。

育成会は、組織ですから、会則(規約)をもち、目的、事業、入会手続き、役員、会費などが明らかにされていなければなりません。

育 成 者

育成者は、子どもをもつ親(父母)はもちろんのこと、地域に住むすべてのおとなの人々をいいます。

子どもたちの人間形成は、総合性をもって行なわれるものであり、家庭・学校・社会の三者がそれぞれの教育機能を十分發揮し、同時に緊密に連携しなければなりません。地域の教育力を高めるには、地域のおとな一人ひとりが育成者であることを自覚し、子ども会育成のために精神的、物質的援助を協力して行うことが大切です。